

今月の
テーマ

家計のバランスシート (貸借対照表)

これまでは「金融リテラシー」をテーマに様々な分野を解説し、先月号で一応の区切りをつけ、今回は「バランスシート(貸借対照表)」について考えてみることにしたのだが…。書き始めるにあたって改めて考えると、今回のテーマは“金融リテラシー”とは別物なのか?と思いがよぎった。バランスシートを考えることは、家計管理における「適切な収支管理」そのものである。ならば、今月のテーマも「金融リテラシー」に他ならない。なんだか堂々巡りをしているような…!?

エー・クラス創刊以来13年、この間、東日本大震災の影響で1回だけ休刊したものの「生活知恵袋」は一度も休みなく157回編集者と共に歩み続けてきた。♪思えば遠くへ来た～もんだ～戸である。ここまで長く続いたのも、「編集者、読者、そして私」、それぞれの想いがうまくバランスが取れていたからなのかもしれない。何事もバランスは大事なのだ。(またまたこじつけか…!) まあ、何はともあれ皆様

の暮らしに資するとの想いで続いてきたこの「生活知恵袋」は、157回すべてが「金融リテラシー」であったのかもしれない。「金融リテラシー」は一夜にして身につくものではないし、日常生活の中で積み上げていくしかない。であれば、「生活知恵袋」も読者の日常の中で身近な存在としてあり続けたいものだ…。

例によって、余談・冗談に始まったわけだが、何事もバランスを保つことは非常に大切だ。体の健康のバランスも経済のバランスも、それが崩れると大変な事態になってしまう。とりわけ、家計のバランスを保つことは、人生の安定を保つことに他ならない。しかしながら、家計におけるバランスシートをどれだけの方が意識されているだろうか…!? 企業の会計にとっても、バランスシート(貸借対照表)とP/L(損益計算書)は最も基本的な財務諸表であり必須と言えるものだが、こと家計にあっては“なんだそれ”と思う方もいるかもしれない。

Vol. 157

知恵袋

生活

生活に
何かと役立つ
連載コラム

つぶやきがんちゃん



齋藤 廣勝

(さいとう ひろかつ)

株式会社トータルライフサポート
代表取締役

- ・CFP®サーティファイドファイナンシャルプランナー
- ・1級ファイナンシャルプランニング技能士
- ・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
- ・住宅ローンアドバイザー
- ・金融広報アドバイザー

① 資産(財産)内訳

② 負債(借金)内訳

③ 純資産(純財産)内訳

④ 負債(借金)内訳

⑤ 純資産(純財産)内訳

⑥ 負債(借金)内訳

⑦ 純資産(純財産)内訳

⑧ 負債(借金)内訳

⑨ 純資産(純財産)内訳

⑩ 負債(借金)内訳

⑪ 純資産(純財産)内訳

⑫ 負債(借金)内訳

⑬ 純資産(純財産)内訳

⑭ 負債(借金)内訳

⑮ 純資産(純財産)内訳

⑯ 負債(借金)内訳

⑰ 純資産(純財産)内訳

⑱ 負債(借金)内訳

⑲ 純資産(純財産)内訳

⑳ 負債(借金)内訳

㉑ 純資産(純財産)内訳

㉒ 負債(借金)内訳

㉓ 純資産(純財産)内訳

㉔ 負債(借金)内訳

㉕ 純資産(純財産)内訳

㉖ 負債(借金)内訳

㉗ 純資産(純財産)内訳

㉘ 負債(借金)内訳

㉙ 純資産(純財産)内訳

㉚ 負債(借金)内訳

㉛ 純資産(純財産)内訳

㉜ 負債(借金)内訳

㉝ 純資産(純財産)内訳

㉞ 負債(借金)内訳

㉟ 純資産(純財産)内訳

㊱ 負債(借金)内訳

㊲ 純資産(純財産)内訳

㊳ 負債(借金)内訳

㊴ 純資産(純財産)内訳

㊵ 負債(借金)内訳

㊶ 純資産(純財産)内訳

㊷ 負債(借金)内訳

㊸ 純資産(純財産)内訳

㊹ 負債(借金)内訳

㊺ 純資産(純財産)内訳

㊻ 負債(借金)内訳

㊼ 純資産(純財産)内訳

㊽ 負債(借金)内訳

㊾ 純資産(純財産)内訳

㊿ 負債(借金)内訳

㊿ 純資産(純財産)内訳

保険と暮らしの相談センター



あなたの保険は**保険金・給付金**の
支払対象かもしれません!

新型コロナウイルスに感染し、宿泊療養または自宅療養となった場合には、「入院給付金」等の支払対象となる場合があります。お気軽にお問い合わせください。

相談は
無料です

お気軽にご相談ください。



total life support

株式会社
トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

●営業時間/9:30~18:00(土・日・祝9:30~17:00)

●定休日/水曜日

TEL 018-827-7611

FAX 018-827-7610

https://tls-akita.co.jp/



詳細はホームページでも
ご覧いただけます。

土地、建物、株式、債券、保険、宝石、自動車などの「売れば現金化できるもの」※購入金額ではなく、現時点の評価額で表される

② 負債(借金)
住宅ローン、マイカーローン、奨学金などの「返さないといけないお金」

③ 純資産(資産-負債)
不動産やマイカーなどの財産を処分した金額から借金を返済した後に残る正味財産

これら3つをトータルで判断することで、それぞれの世帯における家庭経済の健全性が見て取れる。とりわけ、純資産の金額を見ることは家計の体力を測るという点においても重要だ。

純資産とは

先にも書いた通り純資産とは資産総額から負債総額を引いて求められる。(①資産-②負債)。資産と負債の部分は比較的分かり易いと思うが、純資産とはいったいどう考えれば良いのだろうか？先にも書いた通り、資産の金額とは購入金額ではなく、現時点で現金化(売却)した場合の金額である。住宅やマイカーなどを購入し、その直後に中古物件として売却したとしても、その価額は購入金額よりも大きく下がってしまうのが一般的だ。純資産という考え方は家計簿の中では出てこないが、言い換えれば家計の基礎体力と言っても良いのかもしれない。バランスシートを実際に作成してみると、この純資産はプラスであることが望ましいが、マイホームを全額借入で取得した場合の純資産はマイナスになることも少なくない。また、マイカーや家電製品などをローンで購入している場合もマイナスになることがある。

バランスシートの作成にチャレンジ

サンプルを見ていただければお判りの通り、バランスシートの作成はそんなに複雑でもないし、難しくもない。それぞれの項目の記入ポイントを、項目別に整理してみたのでは是非チャレンジしていただきたい。

【資産の部】

- ・預貯金：額面を見ればOK
- ・金融商品：その時点での評価額
- ・保険資産：その時点で解約返戻金
- ・固定資産：その時点での実勢価額(時価)

【負債の部】

- ・負債の金額は借入れ時の金額ではなく、現時点での残高を記入
- ・預貯金や金融商品の金額は分かり易いと思うが、固定資産の土地は大体の相場感で良いと思うし、建物に関しては新築直後だとしても建築価格の7割位を目安にしたい。また、年々その評価は下がっていくので1年に1回は更新をしたい。自動車も同様に評価額は年々減少し、その下落率は車種にもよるが、建物以上に大きい。評価額はネットなどで中古相場を確認するといいたろう。サンプルの場合の純資産は420万円となっているが、これがこの世帯の体力ということができる。プラスとなっているのが正常な状態と言えるが、マイナスの場合は、債務超過となり改善方法を考えねばならない。さて、皆さんのご家庭のバランスシートは如何だろうか？！? 落胆してはいないだろうか？！?

バランスシートの実態は

バランスシート作成のお手伝いをしていくと、結構多くの世帯が債務超過になっている。企業が債務超過になっていると、金融機関からの融資を受けられなくなったり、上場廃止や破産

に追い込まれかねない。個人の場合の債務超過の中身を見てみると、住宅ローンが大きく影響しているようだ。秋田県は持ち家率が全国1位で77.3%で、全国平均61.2%と比較すると15ポイントも高い。その分、住宅ローンも多いし、近年の物件価格の高騰もあり債務超過の要因になっているようだ。(総務省平成30年「住宅・土地統計調査」)債務超過は決して好ましい事ではないが、個人の場合は少し事情が異なる。債務超過の原因が住宅ローンであるとすれば、返済期間が30年、35年と続くことから、短期の売却を想定しなければ必ずしも大きな問題とは言えない。個人の場合、債務超過の原因の主なものは

- 家計収支の赤字の累積
- 保有資産の下落による評価損
- 災害や事故などの特別損失

● 住宅ローンなどの高額な融資が挙げられるが、その要因をバランスシート作成(見える化)によって確かめ、今後の家計収支の見直しにつなげることが重要なのである。

先ずは作成しよう

作成しようというより、足元の状況を把握するためにも作成しなければならぬ。一度作成してしまえば、その後の更新は比較的簡単に出来るし、健康診断のように1年に1回は確認することを勧めたい。家計管理の在り方と将来計画に大きく貢献すること請け合いだ。一度はFP「ファイナンシャルプランナー」に診断してもらってはどうかだろうか。かかりつけのFPを持つ...

来月号は

4月の年金制度改正を受けて、その主なものを解説することしよう。

● バランスシートのサンプル

資 産			負 債			
項目	細目	金額	項目	細目	金額	
預貯金等	定期預金	〇〇銀行	500,000	負債合計		
	積立預金	〇〇銀行	300,000	住宅ローン	〇〇銀行	12,000,000
	普通預金	〇〇銀行	200,000	マイカーローン	△△銀行	1,800,000
			1,000,000	奨学金	〇〇育英会	2,200,000
金融商品等	投資信託	〇〇証券	300,000	カードローン	〇〇カード	300,000
	株式	□□証券	0	キャッシング		0
	外貨預金	△BANK	0	リボ		0
	iDeCo	abc BANK	500,000			
	積立NISA		200,000			
		1,000,000				
保険資産	終身保険	〇〇生命	2,000,000			
	養老保険	□□生命	0			
	年金保険	〇〇生命	0			
	学資保険	△△生命	1,500,000			
		3,500,000			16,300,000	
固定資産	不動産	自宅土地	8,000,000	純資産=(資産)-(負債合計)		4,200,000
	不動産	自宅建物	5,000,000			
	車	普通乗用	1,500,000			
	車	軽乗用	500,000			
			15,000,000			
資産合計		20,500,000	負債+純資産 合計		20,500,000	